

# 大阪府・大阪市の I R に関する 取り組み状況について

1. 大阪の I R 推進会議について
2. 大阪 I R 基本構想（案）について
3. ギャンブル等依存症に関する検討状況等
4. 府民理解セミナーの実施について
5. 今後の進め方

《参考資料》 夢洲まちづくり構想（案） 概要版

大阪府・大阪市 I R 推進局

# 1. 大阪の I R 推進会議について

## I 開催目的

大阪・夢洲地区に I R（統合型リゾート）を誘致するにあたり、構想の策定や課題対策等について幅広く検討するために開催する。

## II 委員名簿（平成29年6月18日時点）

（敬称略）

（座長）	溝畑 宏	公益社団法人大阪観光局 理事長
（座長代理）	谷岡 一郎	学校法人谷岡学園 理事長・大阪商業大学 学長
	井上 幸紀	大阪市立大学大学院医学研究科 教授
	勝見 博光	大阪府立大学21世紀科学研究機構 客員研究員
	樋口 真人	弁護士
	関 総一郎	公益社団法人関西経済連合会専務理事
	廣瀬 茂夫	一般社団法人関西経済同友会常任幹事・事務局長
	宮城 勉	大阪商工会議所専務理事

## III 開催状況

### 第1回会議（平成29年3月30日）

「主な議事」

- 大阪府市の取組状況について
- 今後の進め方について

### 第2回会議（平成29年5月23日）

「主な議事」

- 国の動向について
- 大阪 I R 基本構想（案）について
- ギャンブル等依存症対策の現状について
- 今後の進め方について

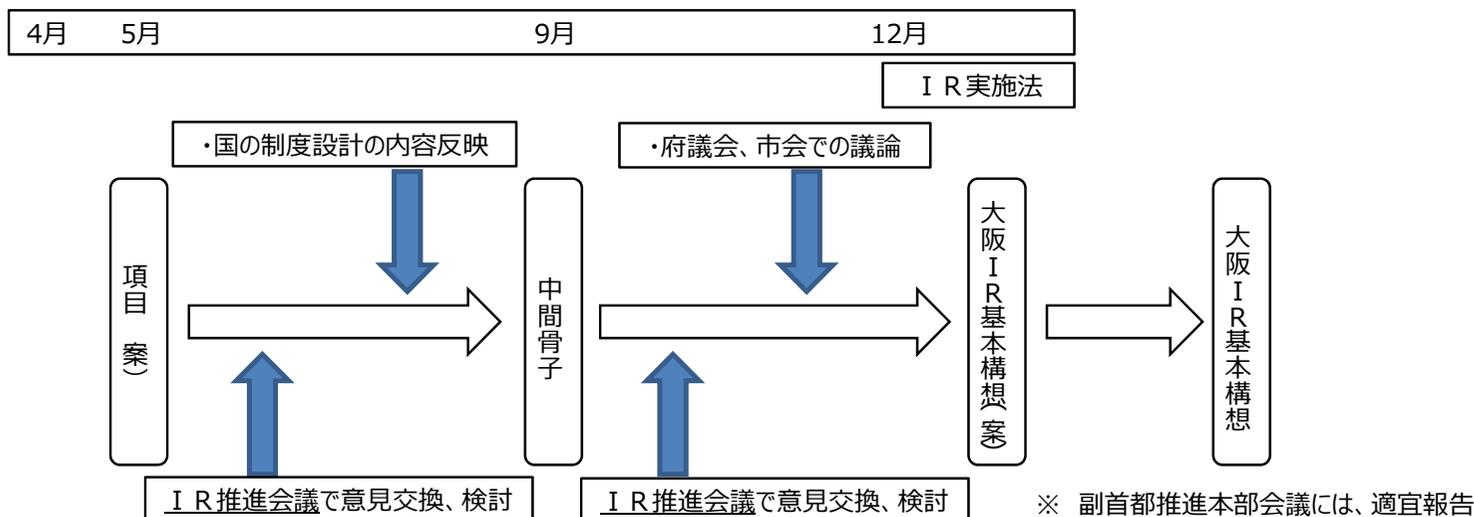
### I 目的

「大阪 I R 基本構想（案）」は、大阪がめざす I R の具体的なイメージが掴めるよう、I R についての基本的な考え方をはじめ、施設計画の大枠やギャンブル依存症等の懸念事項に対する取組みの方向性などを明らかにするために作成し、府民・市民の理解促進にも資するものとする。

### II 項目（案）

1. 大阪がめざす方向性・I R の必要性  
大阪を取り巻く状況、課題、ポテンシャル、なぜ I R なのか、めざすべき方向性 など
2. 大阪 I R の概要  
基本コンセプト、開発概要（コンセプト、エリア、整備スケジュール、交通アクセスなど）、導入機能・施設（MICE、宿泊、国際的エンターテインメントなど） など
3. I R 立地による効果  
集客効果、経済波及効果、雇用創出効果、納付金・入場料の活用、関西・日本全国への広域的な相乗効果 など
4. 懸念事項と最小化への取組  
ギャンブル依存症対策、青少年の健全育成、地域風俗環境等の保持 など
5. 地域の合意形成（府民理解の促進）に向けた取組

### III 今後のスケジュール



#### ◀政府・与党の検討状況▶

- ◎ギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議設置
  - 第1回 H28.12.26 公営競技等所管省庁におけるギャンブル等依存症対策の報告
  - 第2回 H29. 3.31 ギャンブル等依存症対策の強化に関する論点整理  
⇒具体的な対策や実施方法について、本年夏を目途にとりまとめる
  
- ◎ギャンブル等依存症対策基本法案
  - ・与党ワーキングチームが法案骨子をとりまとめた
  - ・与党ワーキングチームでは議員立法による今国会での法案提出、成立をめざす

#### ◀厚生労働省の取組▶

- H28.12.27 依存症対策推進本部設置
- ◎ ギャンブル等依存症に関する実態把握（全国11都市での調査）  
 （速報）H28年度 国内のギャンブル等依存症の疫学調査（中間とりまとめ）  
 成人の**2.7%**がギャンブル等依存症と疑われる（H25年度調査 **4.8%**）（調査結果は5月末にとりまとめ予定）  
 H29年度は約10,000人に調査、本年夏を目途に調査結果をとりまとめる
  
- ◎ H29年度依存症対策予算（5.3億円） ※H28年度は1.1億円
  - ・ 全国に治療拠点をも67か所指定、相談拠点として精神保健福祉センターに相談員67名を配置
  - ・ 相談支援対象者、医療従事者等への研修 等

#### ◀大阪府内における取組▶

- ◎ **I R 推進局** ⇒ 国における議論や、IR推進会議における有識者や関係者の意見を踏まえ、I R 推進局が司令塔となり、関係部局と連携し、既存ギャンブル等を含む依存症対策を検討  
 現在、関係部局等にヒアリングを行い、予防、相談、治療の段階別に現状・課題を整理中

（課 題）	⇒	（想定される主な関係部局・関係機関）
IR事業者への条件付け（依存症抑止）	⇒	IR推進局
青少年教育	⇒	府教育庁、市教育委員会事務局 府青少年・地域安全室、市こども青少年局
普及啓発・相談	⇒	I R 推進局、府健康医療部、市健康局
治療	⇒	大阪精神医療センター、その他医療機関 など

## I 目的

大阪府・大阪市は共同で、大阪のさらなる発展につなげていくために、夢洲へのIR（統合型リゾート）誘致に取り組んでいる。

取り組みの一環として、IRがもたらすプラスの効果（経済波及効果・雇用創出効果や観光振興への寄与等）や懸念事項（ギャンブル依存症や青少年・治安への影響）の最小化について、府民へ正しい情報を発信することにより、マイナスイメージや誤解を払拭し、IRに関する府民の理解を促進し、IRの立地に向けた機運醸成を図る。

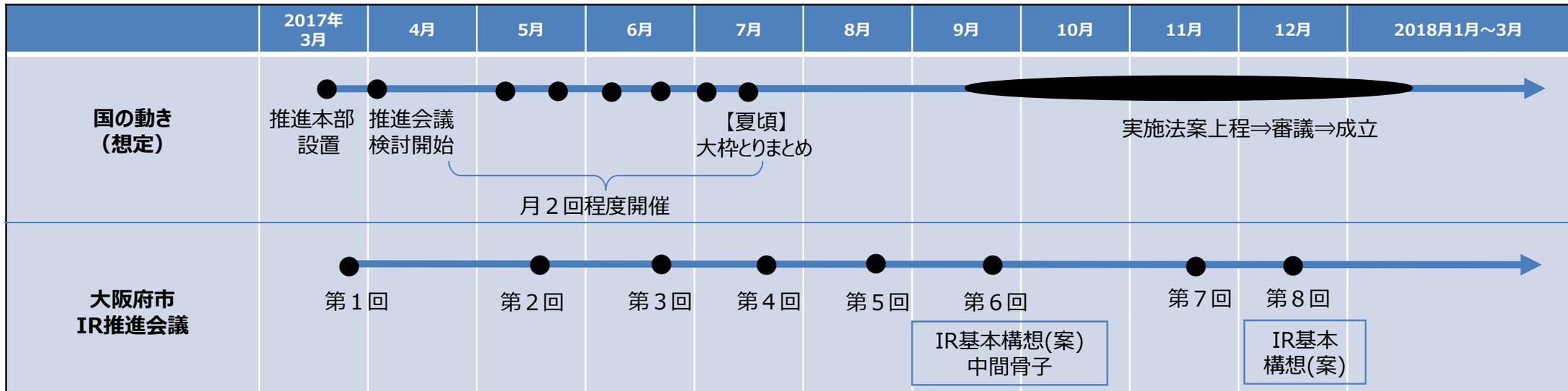
## II 開催概要

期 間： 平成29年6月から平成30年2月上旬

回 数： 10回以上（1回2時間程度）3クールに分けて開催

第1クール（6～8月）： IRに関する基本的事項（海外の事例、国内の動向、府市の取組、夢洲まちづくり構想 など）  
 第2クール（10～11月）： 国の動向を踏まえた府市の対応（IR実施法等の動向、IR基本構想（案）の骨子など）  
 第3クール（1～2月）： IR基本構想（案）の概要（基本コンセプト、波及効果、懸念事項への対応 など）

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
← 第1クール →				← 第2クール →			← 第3クール →		
●	● ●	●		●	● ●		● ● ●		



## <大阪府市IR推進会議での今後の検討内容について>

- I R 基本構想（案）の策定に向けて、大阪がめざす方向性や大阪の I R の概要、I R 立地により生まれる様々なプラスの波及効果、ギャングル等依存症や治安などの懸念事項にかかる対策など、各項目にかかる議論を順次進めていく。
- 国の最新動向について、随時共有化を図りながら、必要に応じて、国への要望事項等について議論を行う。